

科目名	心理学英文講読			ナンバリング	PSY152	授業形態	演習
対象学年	3 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	大原貴弘	担当教員					

授業の概要	心理学に関する最新の知見を得るためには、英語の文献を読む必要がある。また、心理系の大学院に進学する場合、多くの大学院において英語の試験、主に英文読解の力が問われるため、英語の心理学文献を読解できる必要がある。そこで、本講義では、特に大学院進学希望者を対象に、心理学の英語文献の読解訓練を通して、英文読解の基礎的な力を身に付けてゆくことを目標とする。						
到達目標	1. 英語文献を読むために必要な基本的な英語構文と文法の知識を習得する。 2. 英語文献を読みこなすために必要な基本的な語彙力を習得する。 3. 心理学の学術用語の英語表記とその意味を習得する。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	・毎回配布される英文が次回の授業の課題となるので、毎回、あらかじめ予習しておくことが求められる。 ・英文を和訳できるようになるためには、英文読解の訓練だけでなく、日本語での文章表現の訓練をしておく必要がある。 ・辞書で調べた英単語や学術用語は随時、覚える習慣をつける。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 心理学の英文を辞書を引きながら読み、文章の構造を把握し、その大まかな内容を理解できる。 2. 理解した英文を日本語訳としておおよそ表現できる。 3. 心理学の各分野の主要な専門用語を、日本語として習得している。	1. 心理学の英文を辞書を引きながら読み、その内容を適切に理解できる。 2. 理解した英文を適切な日本語訳としておおよそ表現できる。 3. 心理学の各分野の基礎知識を有しており、各分野の主要な専門用語(英語・日本語)を理解している。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○				○		40%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		50%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	・授業でのプリントについて、毎回答え合わせを行う。その際対話形式でフィードバックを行う。 ・小テストを実施した場合は、結果と正答についてフィードバックする。 ・定期試験についても、結果と正答をフィードバックする。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	本科目の教育目標や授業の進め方、並びに、大学院受験に必要な英語読解力を習得するための、勉強方法について説明する。	
	第2回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第3回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第4回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第5回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第6回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第7回	中間テスト	中間テスト(英文の読解と全訳)を行う。第6回までの授業内容に関連した範囲から出題される。辞書の持ち込みについては、その都度指示する。	
	第8回	中間テストの解説	中間テストの結果と正答について解説を行う。	
	第9回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第10回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第11回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第12回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第13回	英文読解	事前に配付した英文を受講者が順に読んでゆき、教員が適宜説明してゆく。	
	第14回	期末テスト	期末テスト(英文の読解と全訳)を行う。第9-14回までの授業内容に関連した範囲から出題される。辞書の持ち込みについては、その都度指示する。	
	第15回	期末テストの解説	期末テストの結果と正答について解説を行う。	
	試験	中間テスト(第8回)・期末テスト(第14回)を行い、それぞれのテストの解説(第9,15回)も行う予定である。 ただし、試験の時期については授業の進度によって変更される可能性もある。		
授業の進め方		1. あらかじめ英文を配付するので、必ず予習をしておく。 2. 提示していた英文を、受講者が順番に和訳してゆき、教員が適宜解説を加えてゆく。		
授業外学習の指示		1. あらかじめ、次回の英文和訳の予習をしておくこと。 2. 予習時にわからなかった英文については、授業終了後、復習しておくこと。 (授業外学習時間: 毎週 120 分)		

教科書	授業時に配付する資料に従って、授業を進めてゆく。
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	特になし。
その他	